

## 『IEEE のカンファレンスと刊行物に関する総合的分析 —成長・激変する世界の電気電子・情報通信研究と日本—』の公表について

科学技術政策研究所では、工学の分野で世界の文献数の約 1/3 を出版する、世界最大の学協会である IEEE（電気電子技術者協会）が過去 30 年間に出版した文献について幅広く調査し、電気電子・情報通信関連の世界と日本の研究動向を定量的に分析しました。

世界で電気電子・情報通信関連研究が大きく成長・変化する様子と、日本の研究の特徴について、総合的な分析結果をとりまとめましたので公表します。

IEEE（“Institute of Electrical and Electronics Engineering, Inc”：電気電子技術者協会）とは、世界 150 カ国に 38 万人の会員がいる電気・電子工学分野における世界最大の学会です。

科学技術政策研究所では、継続的に、IEEE（“Institute of Electrical and Electronics Engineering, Inc”：電気電子技術者協会）の出版物を対象とした文献調査を行ってきました。

本調査資料では、調査対象と期間を拡大し、これまでの調査結果も総合して分析しました。分析対象に、新たにカンファレンス・プロシーディング（国際会議の予稿集）を加え、定期刊行物と合わせて、30 年間で約 150 万件以上の文献データを独自に作成・分析しました。

近年は情報通信分野を中心に世界全体で研究が活発化しています。依然として米国は新しい研究領域を開拓し、世界の研究をリードしていると言えます。しかし、カンファレンスだけを見れば、特に中国で急増しており、2008 年に中国のプロシーディング文献数が米国を抜いて世界一になったことが注目されます（裏面図参照）。

このような世界の動向のなかで、日本は非常に特異な推移を示しています。プロシーディング文献数は順調に伸び、米中に次ぐ 3 位を保つ一方で、定期刊行物文献数では過去 20 年間横ばいで次第に順位を下げています（裏面図参照）。また、領域別の文献数のバランスについても、電気系が特に多く情報系が少ないなど偏りが大きく、その経年変化も小さいことから、世界の研究の方向性とは乖離が進む傾向にあります。

※ 本報告書につきましては、科学技術政策研究所ホームページ

（<http://www.nistep.go.jp/index-j.html> の「報告書」欄）に掲載されますので、そちらで電子媒体を入手することが可能です。

（お問い合わせ）

科学技術政策研究所 科学技術動向研究センター 担当：白川

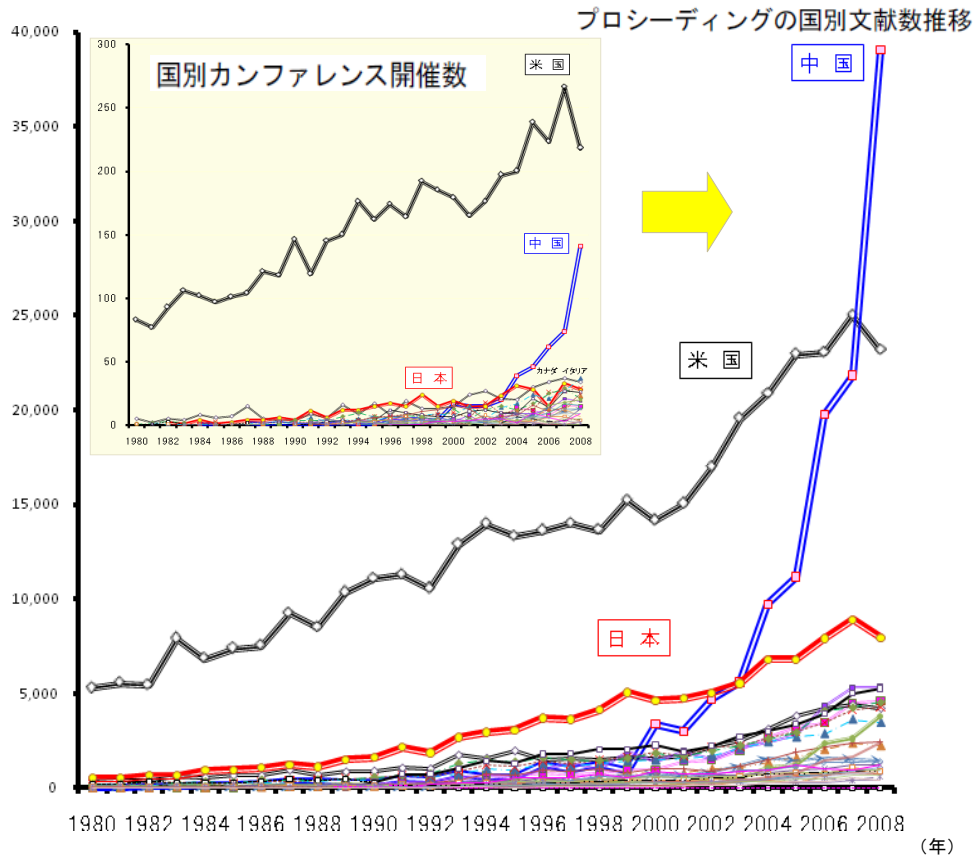
TEL: 03-3581-0605

FAX: 03-3503-3996

e-mail: [shirakawa@nistep.go.jp](mailto:shirakawa@nistep.go.jp) ホームページ: <http://www.nistep.go.jp>

- 2000年代に入り、中国でのカンファレンス開催が急増し、2008年には中国のプロシーディングの文献数が米国を抜いて世界一となった。

(文献数)



- 日本は、プロシーディング文献数では順調に伸び、米中に次ぐ3位を保つ一方、定期刊行物文献数では過去20年間横ばいであり、次第に順位を下げている。

(米国定期刊行物文献数)



(米国以外定期刊行物文献数)

